

2026年度 袖野中学校 グランドデザイン

こども

学校

ウェルビーイング

家庭

地域



小中学校教育目標『袖野を愛し、袖野に学ぶ』

小学校：主体的に生きる 中学校：品格を高める



【小中学校経営目標】

自己・他者・地域を愛する心と主体性・協働性を育む魅力ある学校づくり



Plan

【重点目標：目指すこども像】（袖野小中連携三部会による計画立案）

- 認め合う**：思いやりの心を持ち、主体的に行動するこども（豊かな心育成部）
- ◆**学び合う**：主体的に学び、共に高め合うこども（確かな学力育成部）
- ▼**鍛え合う**：健康な身体や正しい生活習慣を主体的につくるこども（たくましい心身育成部）

Action

○課題に対する改善案について検討後
改善案の実施

<改善案の検討場面>

- 【短期】 打合せ、職員会議、職員研修
- 【中期】 小中三部会、学校運営協議会、PTA理事会
- 【長期】 教育課程編成

Do

●豊かな心育成部(生徒指導部 特活部)

- 誰とでも活動できる集団づくり
 - ・対話的な自己表現活動や自主的な生徒会活動の充実
- 多様性を尊重した特別支援教育
 - ・一人一人の教育的ニーズに応じた支援
- 社会情動的スキルを育む生徒指導
 - ・安心して学校生活を送れる学級集団
- 思いやりの心を育む人権教育、
 - ・新・人間関係づくりプログラムの活用
- 自己の生き方を考える道徳教育
 - ・考え議論する道徳の授業の充実

◆確かな学力育成部(研修部 ICT 担当)

- ◆ICTを効果的に活用した学びの充実
 - ・個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実
- ◆「学びの伴走者」としての教師の関わり
 - ・主体的、対話的で深い学びを視点にした授業改善
- ◆こどもが主体的に学ぶ「学びのサイクル」の確立
 - ・対話を通して考えをを広げ深める授業の展開
- ◆持続可能な社会の創り手の育成
 - ・地域との関わりを通して探求力を育てる体験的な学びの充実

Check

【評価場面・方法(教職員・学校関係者)】

- ・日常的な学習評価、生活評価
- ・学校評価(年2回) ・小中三部会
- ・学校運営協議会、PTA理事会
- ・行事毎の成果と課題の分析

【評価場面・方法(こども)】

- ・授業における振り返り
- ・定期テスト、定着度調査、全国学・学調査

【学校評価重点項目】

(小・中の順) 【 】は到達目標(%)

- ①授業が楽しい (93・93)[95]
- ②袖香の意欲的な追究(98・84)[90]
- ③学校が楽しい (94・88)[90]
- ④挨拶、言葉遣い (99・96) [95]
- ⑤体力づくり (96・64) [80]
- ⑥早寝早起き朝ごはん (93・75)[85]



地域・家庭との連携・協働

- コミュニティ・スクール
- 学校地域協働本部
- 地域行事への参加

安全・安心な学校づくり

- 学校設備の点検・整備
- 危機管理意識の向上
- 食物アレルギーへの対応

働き方改革の推進

- 教職員が働きやすい職場環境づくり
- 校務DX化への取組